

コミュニケーター for FT3424/FT3425

ユーザーズマニュアル

日置電機株式会社

2017年9月

目次

1. 概要	4
1.1. 動作環境	4
2. インストール方法	5
2.1. インストール	5
2.1.1. USB ドライバのインストール	5
2.1.2. コミュニケーターのインストール	7
2.2. アンインストール	11
2.2.1. USB ドライバのアンインストール	11
2.2.2. コミュニケーターのアンインストール	12
3. 使用方法	13
3.1. メイン画面	13
3.1.1. メニューバー構成	14
3.1.2. ショートカットキー	14
3.2. 各種設定	15
3.2.1. 通信設定	15
3.2.2. レコード設定	16
3.2.3. 保存設定	17
3.3. リアルタイムモニタ	18
3.4. 接続図表示	19
3.5. ステータス	20
3.6. レコード操作	21
3.7. レコードリスト表示	21
3.7.1. レコード情報	21
3.7.2. リスト表示	22
3.7.3. 最大値と最小値表示	23
3.8. グラフ表示	24
3.9. ファイル	25
3.9.1. レコードデータ保存	25
3.9.2. 保存したレコードデータの表示	26
3.10. オプション	27
3.10.1. FT3424/FT3425 本体メモリデータ読み込み	27
3.10.2. レコードデータ Excel 貼り付け	29
3.11. 言語	31
3.12. ヘルプ	31

3.12.1.	PDF マニュアル	31
3.12.2.	バージョン情報	31
4.	困ったときは	32
4.1.	インストールできない	32
4.2.	USB 通信ができない	32
4.3.	FT3424/FT3425 本体を自動認識しない.....	32
4.4.	FT3424/FT3425 への入力値とレコードデータの値が異なる	33

1. 概要

このパソコン用ソフトウェア（コミュニケーター）を使用することにより FT3424/FT3425 照度計本体の測定データリアルモニタやパソコンへメモリデータ転送、パソコンから本体の設定を行うことができます。

1.1. 動作環境

推奨動作環境：

対応 OS	Windows 7 (32 ビット/64 ビット) Windows 8 (32 ビット/64 ビット) Windows 8.1 (32 ビット/64 ビット) Windows 10 (32 ビット/64 ビット)
CPU	CPU 動作クロック 1 GHz 以上
ディスプレイ	解像度 1024×768 以上
通信インタフェース	USB2.0（仮想 COM ポート）

2. インストール方法

2.1. インストール

2.1.1. USB ドライバのインストール

ステップ 1 : [DPIInst64.exe] (64bit 版 OS)、または [DPIInst32.exe] (32bit 版 OS) をダブルクリックします。

次のダイアログが表示されたら、[次へ]をクリックして次に進みます。

([キャンセル]でインストールを中止します。) (図 2-1)

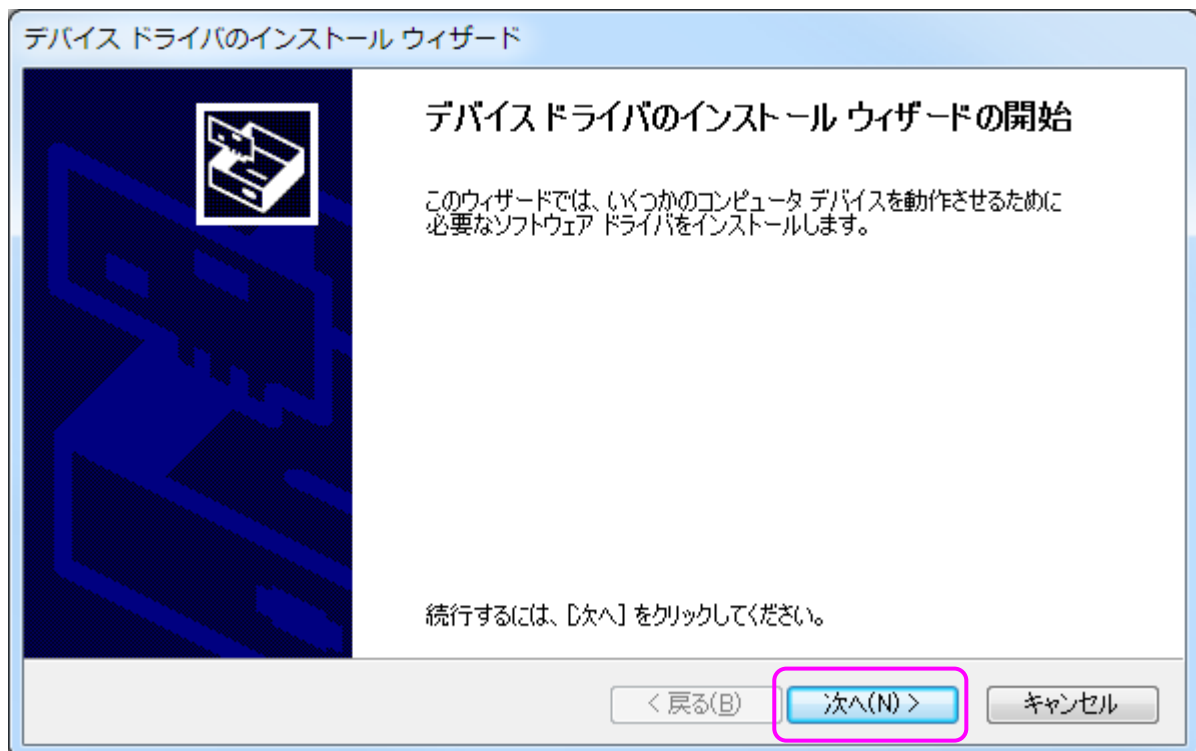


図 2-1

ステップ2 : [このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックします。(図 2-2)

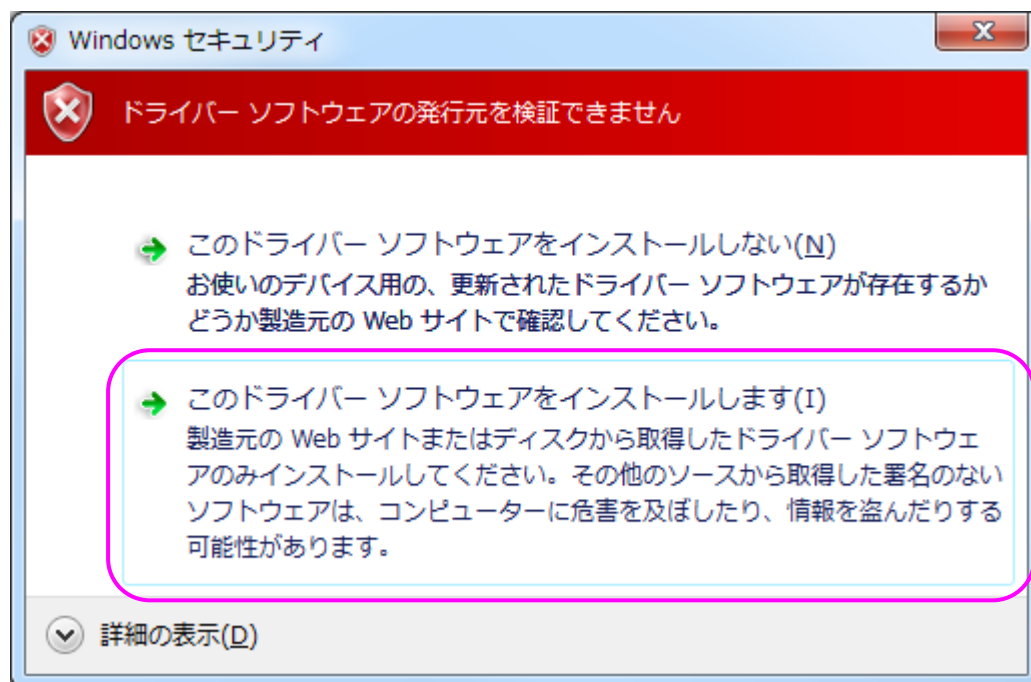


図 2-2

ステップ3 : インストールが完了したら。[完了]をクリックします。(図 2-3)

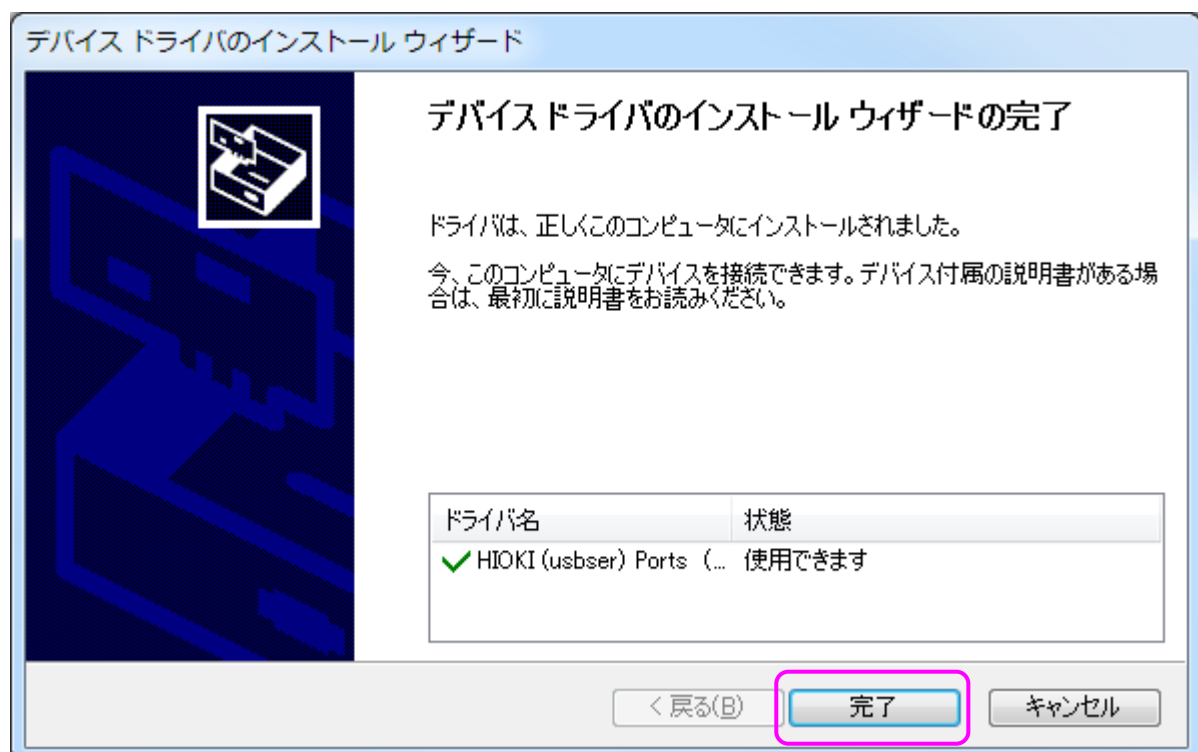


図 2-3

2.1.2. コミュニケーターのインストール

ステップ 1 : [setup.exe]をダブルクリックします。

言語を選択して[OK]をクリックします。(図 2-4)

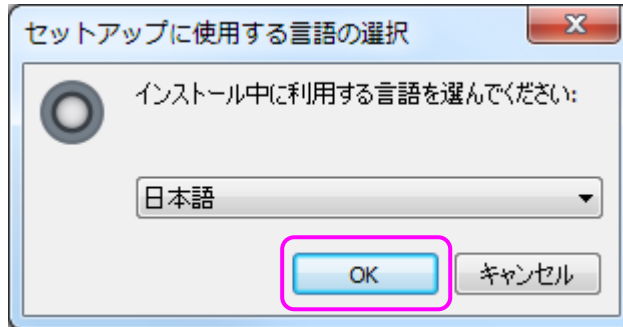


図 2-4

ステップ 2 : [次へ]をクリックします。(図 2-5)

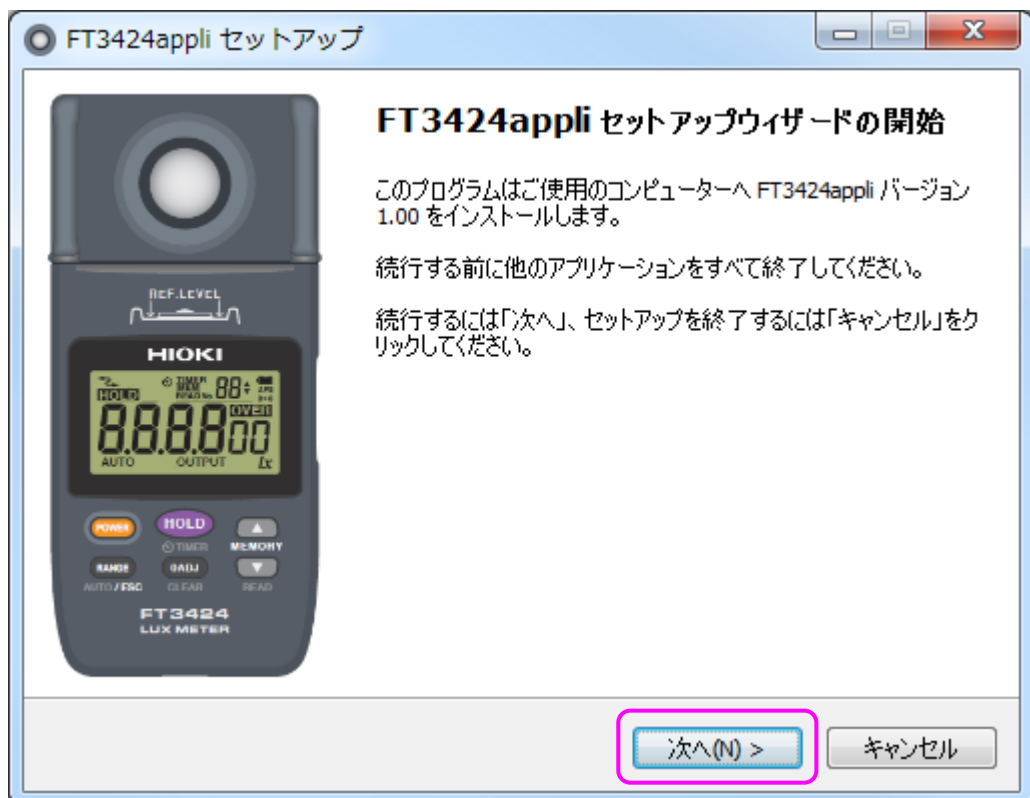


図 2-5

ステップ 3 : [次へ]をクリックします。(図 2-6)

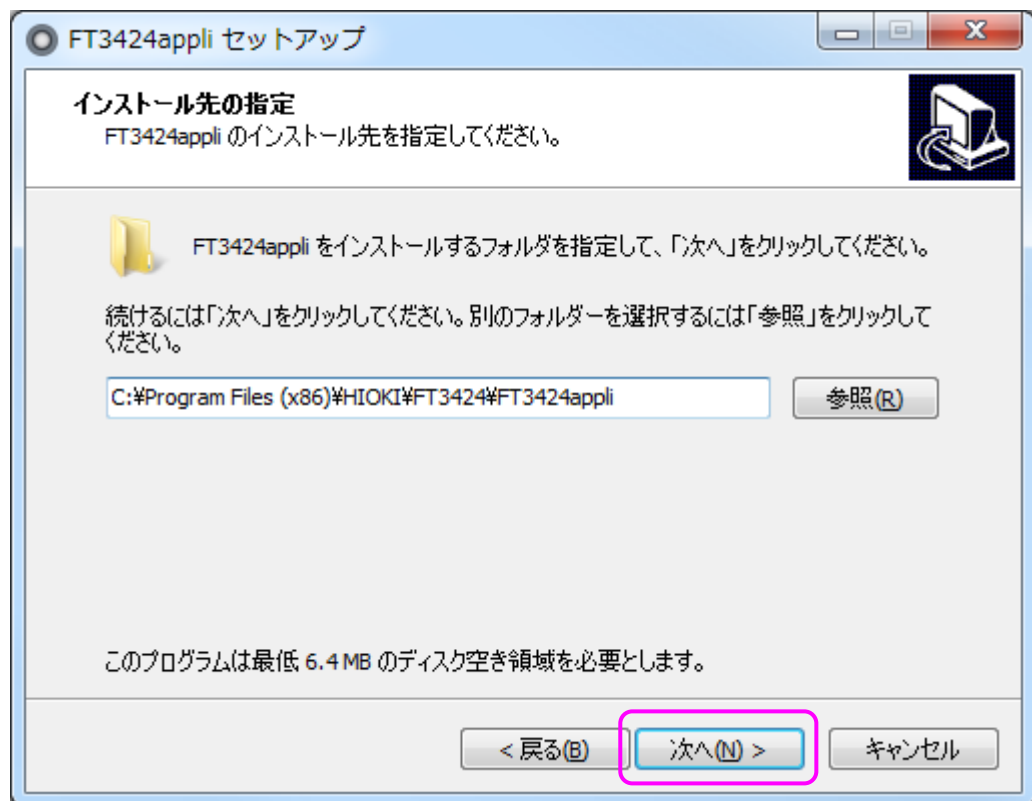


図 2-6

ステップ 4 : [次へ]をクリックします。(図 2-7)

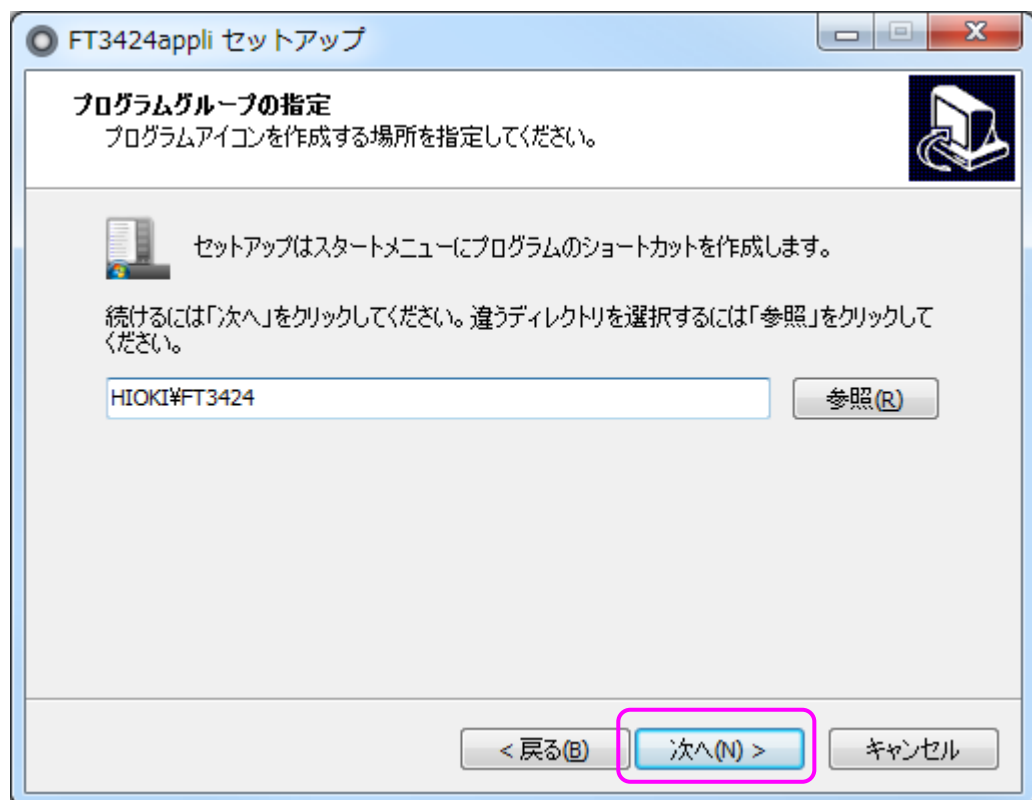


図 2-7

ステップ5：アイコンを追加する場合はチェックして、[次へ]をクリックします。(図 2-8)

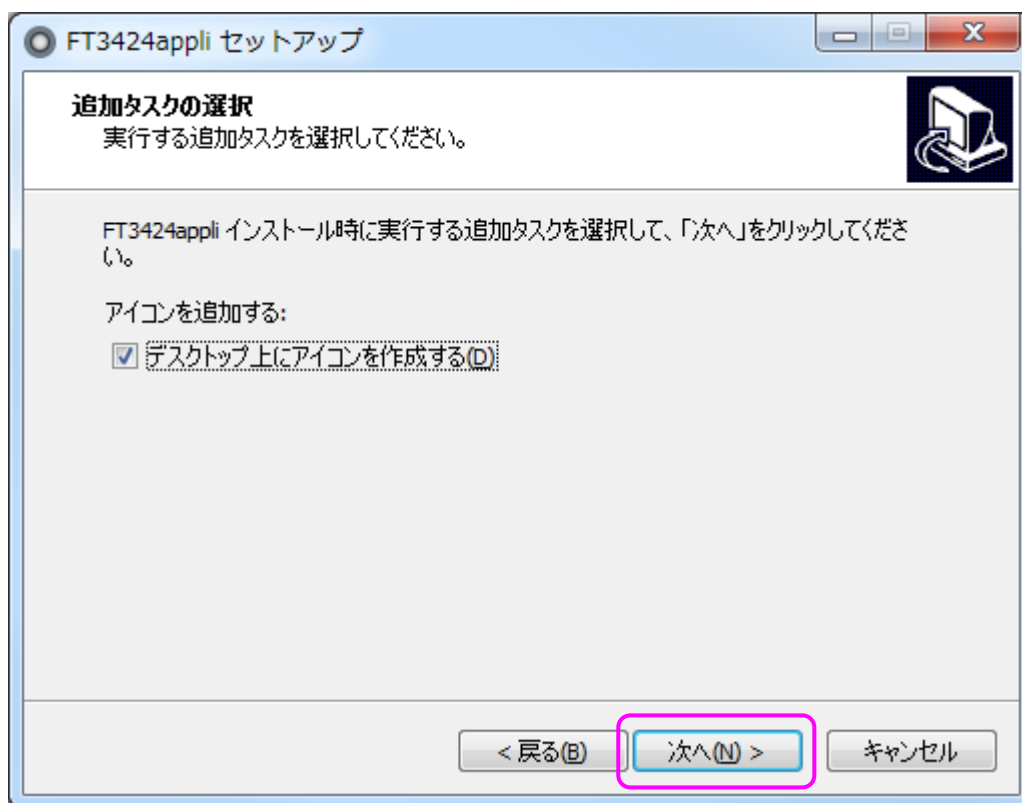


図 2-8

ステップ6：[インストール]をクリックします。(図 2-9)

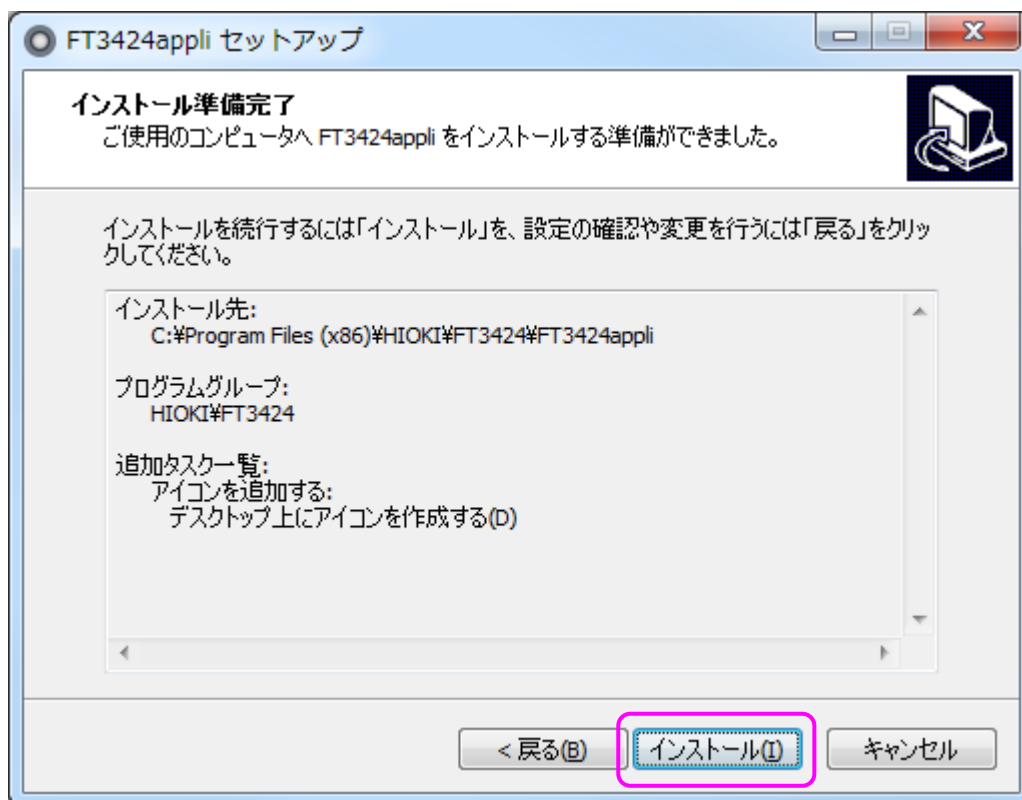


図 2-9

ステップ7：インストールが完了したら[完了]をクリックします。(図 2-10)



図 2-10

2.2. アンインストール

2.2.1. USB ドライバのアンインストール

ステップ 1 : デバイスマネージャーにて、[FT3424 Lux Meter - CDC]を右クリックし、[削除]をクリックします。（図 2-11）

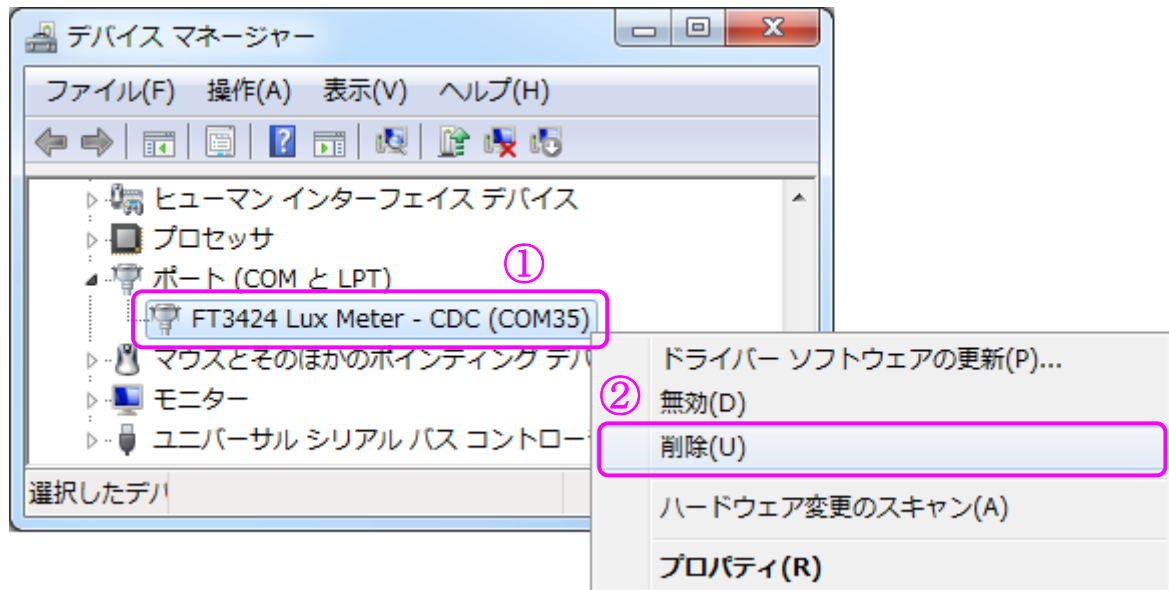


図 2-11

ステップ 2 : チェックボックスをチェックし、[OK]をクリックします。（図 2-12）

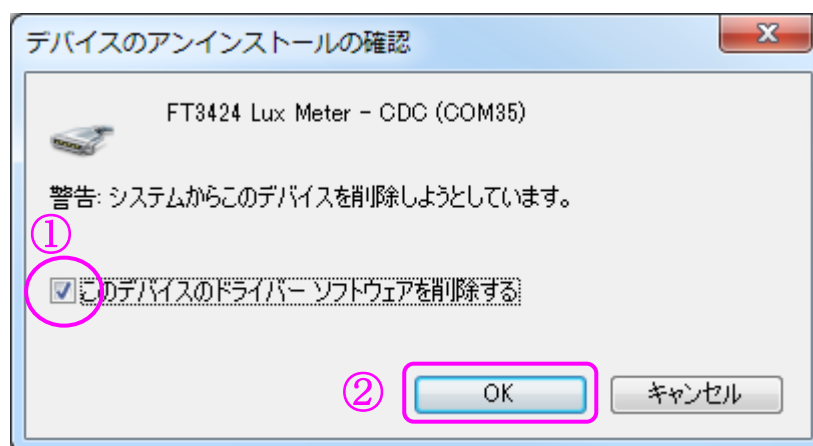


図 2-12

ステップ 3 : アンインストールが完了したらデバイスマネージャーを終了します。（図 2-13）

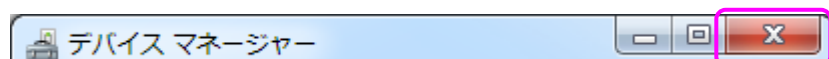


図 2-13

2.2.2. コミュニケーターのアンインストール

ステップ 1 : Windows 7 の場合、[スタート]–[すべてのプログラム]–[HIOKI]–[FT3424]–[FT3424appli をアンインストールする] をクリックします。

次のダイアログが表示されたら、[はい]をクリックします。(図 2-14)

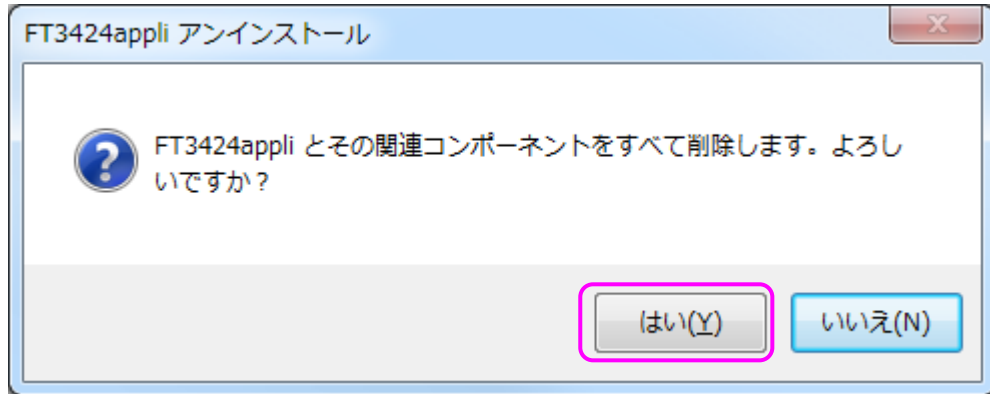


図 2-14

ステップ 2 : アンインストールが完了したら[OK]をクリックします。(2-15)

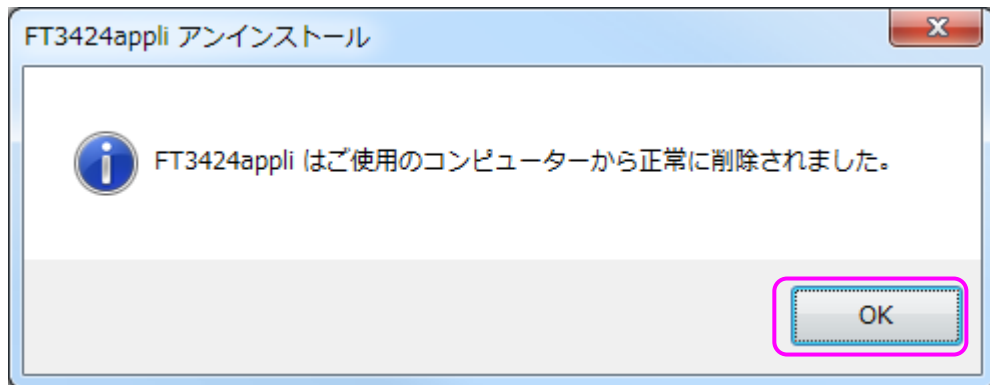


図 2-15

備考 : Windows 7 の場合、[スタート]–[コントロールパネル]–[プログラムのアンインストール] にて削除することもできます。(「FT3424appli」を削除。)

3. 使用方法

3.1. メイン画面

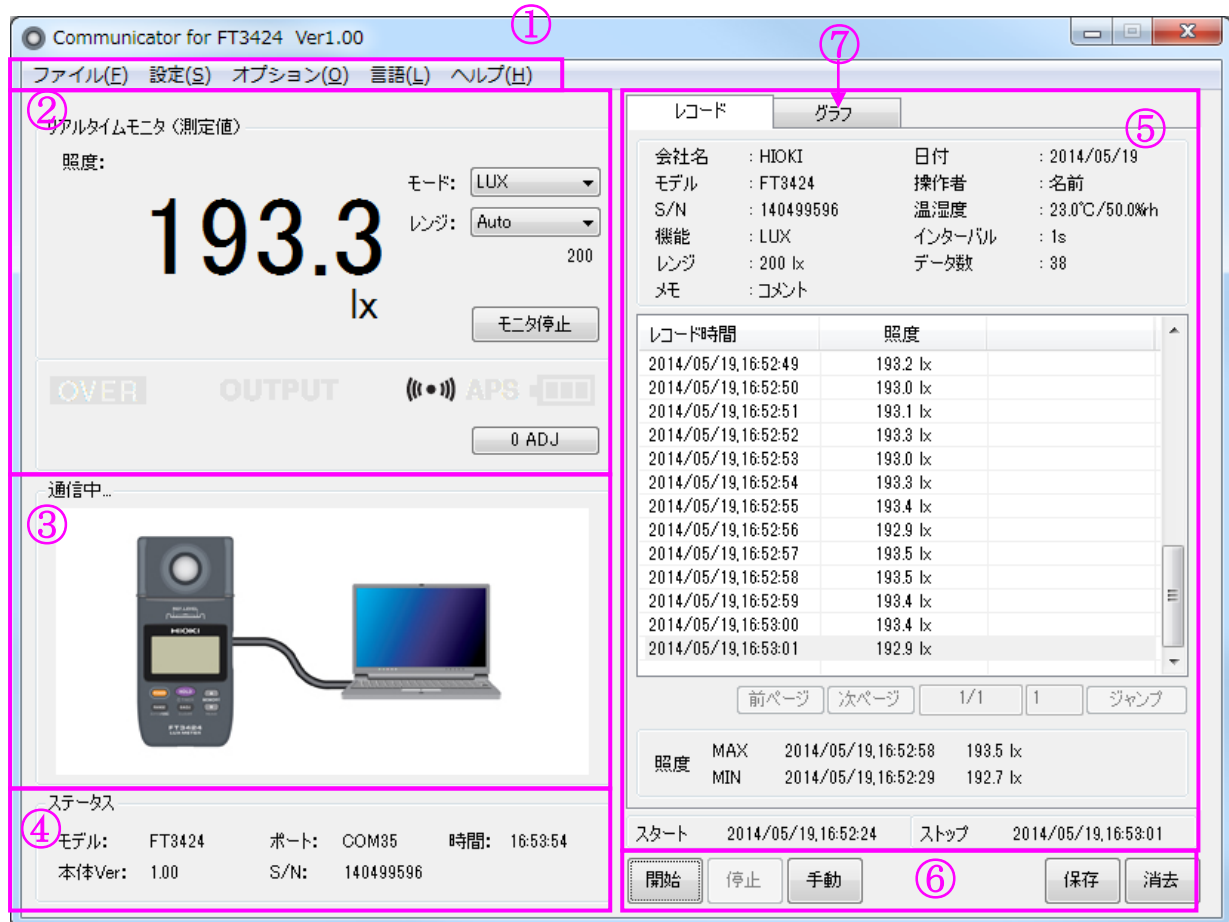


図 3-1

No	機能	概要
1	メニューバー	ファイル操作、各種設定、オプション、言語、ヘルプ
2	リアルタイムモニタ	FT3424/FT3425 レンジ、測定値データなどを表示画面に表示する
3	接続図表示	FT3424/FT3425 の状態に連動して表示する。
4	ステータス表示	ステータスを表示する。
5	レコードリスト表示	レコードリスト、レコード開始からの最大値、最小値を表示する。
6	レコード操作	レコード開始、停止、グラフのコピー、リストデータ保存、リストデータ消去ができる。
7	グラフ表示	レコードデータをトレンドグラフ表示する。

3.1.1. メニューバー構成

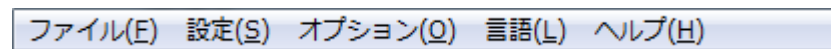


図 3-2

「ファイル(F)」： 開く(O)、上書き保存(S)、名前を付けて保存(A)、
CSV 形式で保存、終了(X)

「設定(S)」

「オプション(O)」： FT3424/FT3425 本体メモリデータ読み込み(M)、
レコードデータ Excel 貼り付け(E)

「言語(L)」： 日本語(J)、English(E)

「ヘルプ(H)」： PDF マニュアル(H)、バージョン情報(A)

3.1.2. ショートカットキー

Ctrl+O	ファイルを開く
Ctrl+S	上書き保存する
Ctrl+Shift+S	名前をつけて保存する
Esc	アプリを終了する
F1	PDF マニュアルを見る

3.2. 各種設定

3.2.1. 通信設定

自動接続、接続 FT3424/FT3425 の選択を設定します。(図 3-3)

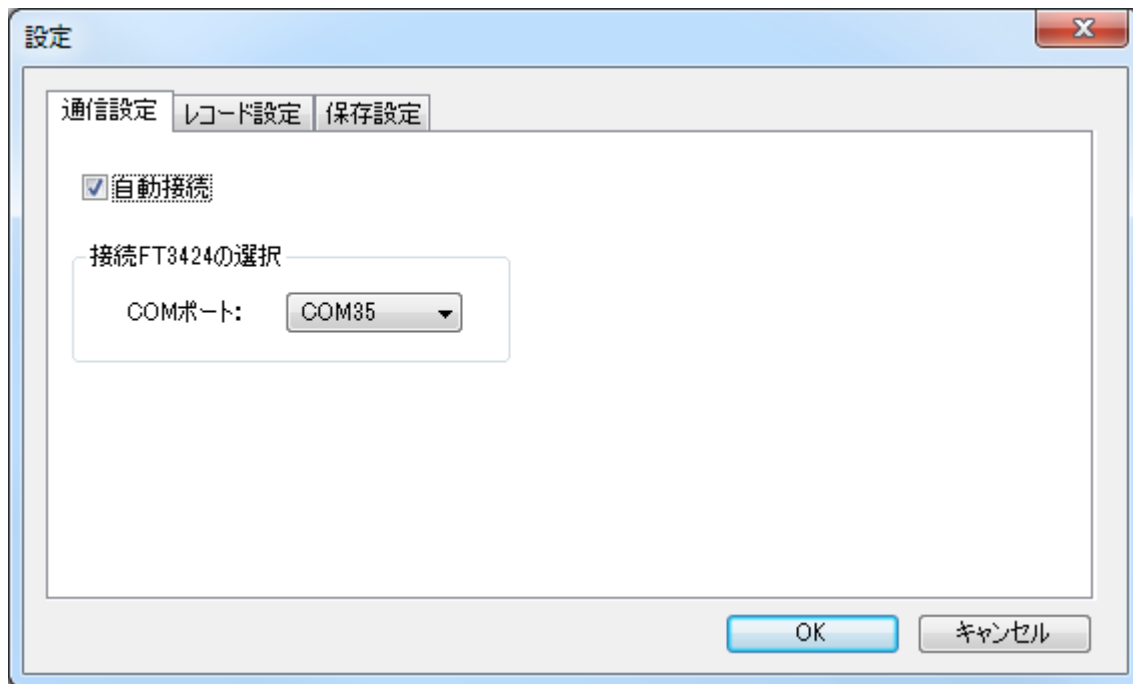


図 3-3

- (1) 自動接続にチェックをすると、FT3424/FT3425 との接続を検出すると自動的に通信を開始します。
- (2) 対応した仮想 COM ポートを検出して、COM ポートのプルダウンメニューリストに追加されます。プルダウンメニューより、接続する FT3424/FT3425 の COM ポートを選択します。

3.2.2. レコード設定

インターバル時間、データ数、レコード時間、時間表示モードを設定します。(図 3-4)



図 3-4

- (1) レコード開始時データレコード数をチェックし、最大数レコード（1048576 データ）がある場合はレコードしません。
- (2) 設定したデータ数をレコード、またはレコード時間経過したら自動でレコード停止します。
- (3) 時間表示モードは、現在時刻表示と経過時間表示が選択できます。詳細は「[リスト表示](#)」を参照してください。
- (4) インターバル時間およびレコード時間は、0h0m1s～99h99m99s の範囲で設定可能です。

3.2.3. 保存設定

データ保存設定と CSV 保存設定をします。(図 3-5)

図 3-5

- (1) チェックボックスにチェックした項目を CSV 保存時に出力します。デフォルトではすべての項目がチェックされています。
- (2) 日付の[自動入力]を選択した場合は、PC の日付情報を表示します。
- (3) CSV 保存設定について、ローカライズ（地域の設定）が日本の場合は、設定を変更する必要はありません。(図 3-5 の設定がデフォルト設定です。)

入力可能文字数：

会社名	256 文字
データ名	256 文字
操作者	256 文字
日付（テキスト入力）	64 文字
温度	32 文字
湿度	32 文字
メモ	512 文字

3.3. リアルタイムモニタ

リアルタイムモニタでは FT3424/FT3425 のレンジに対応して、測定値を表示します。また FT3424/FT3425 測定条件の確認が可能です。(図 3-6)



図 3-6

通信設定で自動接続のチェックを外している場合は以下の操作をしてください。

- (1) リアルタイムモニタは **モニタ開始** をクリックして開始します。
- (2) リアルタイムモニタを止める場合は **モニタ停止** をクリックして停止します。
- (3) 図 3-7 のメッセージが表示した場合は、次の原因の可能性あります。
 - ・ USB ケーブルが接続されていない。
 - ・ FT3424/FT3425 本体の電源が入っていない。
 - ・ 別のウインドウで通信中である。

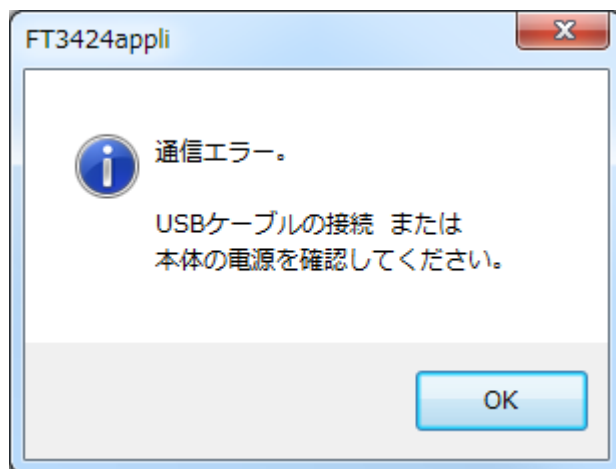


図 3-7

(4) 図 3-8 のメッセージが表示した場合は、次の原因の可能性あります。

- ・ USB ケーブルが切断された。
- ・ FT3424/FT3425 本体の電源を OFF にした。
- ・ Windows がスリープ状態になった。

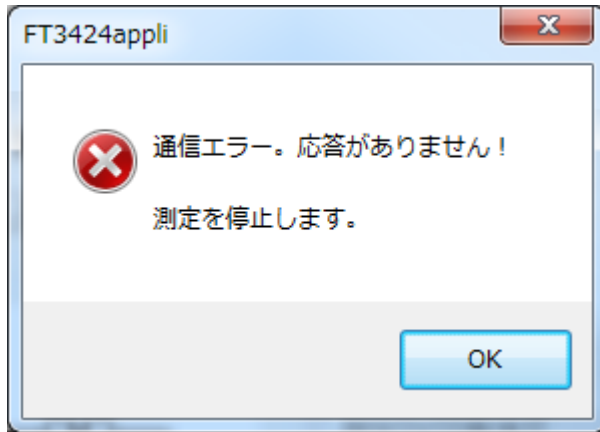


図 3-8

(5) 0 ADJ ボタンをクリックして FT3424/FT3425 のゼロアジャストを実行することができます。

3.4. 接続図表示

FT3424/FT3425 の状態に連動して表示します。(図 3-9、図 3-10)

(1) リアルタイムモニタしていない場合



図 3-9

(2) 通信中の場合



図 3-10

3.5. ステータス

FT3424/FT3425 のステータスを表示します。(図 3-11)

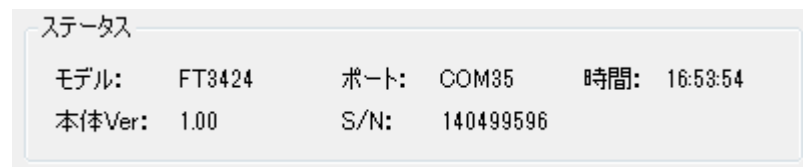



図 3-11

- (1) モデル : FT3424/FT3425 を表示します。
- (2) 本体 Ver. : FT3424/FT3425 のファームウェアバージョン番号を表示します。
- (3) ポート : 仮想 COM ポート番号を表示します。
- (4) S/N : FT3424/FT3425 のシリアル番号を表示します。
- (5) 時間 : 現在時刻を表示します。

3.6. レコード操作

- (1)  をクリックして、リアルタイムモニタを開始します。

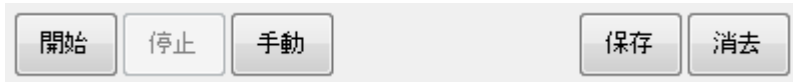






図 3-12

- (2) レコード開始する場合は  をクリックして開始します。

- (3) レコードを止める場合は  をクリックして停止します。

- (4)  により、任意にデータを取得できます。

- (5)  により、レコードデータを保存することができます。詳細は「[ファイル](#)」項目を参照してください。

- (6)  により、「すべてクリア」と「一つ前のデータのみクリア」ができます。(図 3-13)

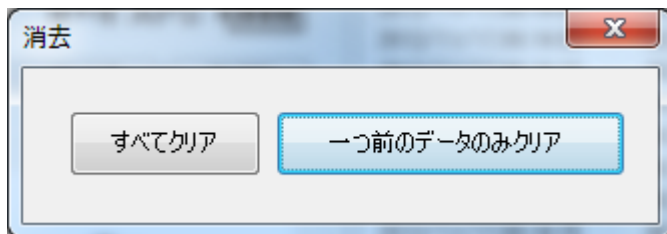



図 3-13

データ消去をキャンセルする場合は、 をクリックしてください。

3.7. レコードリスト表示

3.7.1. レコード情報

保存設定にて設定した内容や FT3424/FT3425 の情報が表示されます。(図 3-14)

- (1) モデルと S/N はモニタ開始すると表示されます。
- (2) 機能とレンジは最後にレコードした情報が表示されます。

レコード		グラフ	
会社名	: HIOKI	日付	: 2014/05/19
モデル	: FT3424	操作者	: 名前
S/N	: 140499596	温湿度	: 23.0°C/50.0%rh
機能	: LUX	インターバル	: 1s
レンジ	: 200 lx	データ数	: 38
メモ	: コメント		

図 3-14

レコード開始したスタート時間と停止したストップ時間を表示します。(図 3-15)

スタート	2014/05/19,16:52:24	ストップ	2014/05/19,16:53:01
------	---------------------	------	---------------------

図 3-15

3.7.2. リスト表示


測定値のレコード開始からインターバル毎のレコードデータ、または手動で取得したレコードデータを表示します。(図 3-16)

レコード時間	照度	
2014/05/19,16:52:49	193.2 lx	
2014/05/19,16:52:50	193.0 lx	
2014/05/19,16:52:51	193.1 lx	
2014/05/19,16:52:52	193.3 lx	
2014/05/19,16:52:53	193.0 lx	
2014/05/19,16:52:54	193.3 lx	
2014/05/19,16:52:55	193.4 lx	
2014/05/19,16:52:56	192.9 lx	
2014/05/19,16:52:57	193.5 lx	
2014/05/19,16:52:58	193.5 lx	
2014/05/19,16:52:59	193.4 lx	
2014/05/19,16:53:00	193.4 lx	
2014/05/19,16:53:01	192.9 lx	

前ページ
次ページ
1/1
1
ジャンプ

図 3-16

レコード設定の時間表示モードが「経過時間」の場合は、レコードリストの最初のデータ取得時間からの経過時間（相対時間）を表示します。(図 3-17)



レコード時間	照度
00:00:25	193.2 lx
00:00:26	193.0 lx
00:00:27	193.1 lx
00:00:28	193.3 lx
00:00:29	193.0 lx
00:00:30	193.3 lx
00:00:31	193.4 lx
00:00:32	192.9 lx
00:00:33	193.5 lx
00:00:34	193.5 lx
00:00:35	193.4 lx
00:00:36	193.4 lx
00:00:37	192.9 lx

前ページ 次ページ 1/1 1 ジャンプ

図 3-17

- (1) レコードリストの 1 ページのデータ数は 1,000 データです。
- (2) 複数ページある場合は、[前ページ]、[次ページ]、[ジャンプ]ボタンにより任意のページを表示できます。
- (3) インターバルレコード中はページ操作無効です。

3.7.3. 最大値と最小値表示

レコード開始からの最大値、最小値を表示します。(図 3-18、図 3-19)

照度	MAX	2014/05/19,16:52:58	193.5 lx
	MIN	2014/05/19,16:52:29	192.7 lx

図 3-18 (現在時刻設定)

照度	MAX	00:00:34	193.5 lx
	MIN	00:00:05	192.7 lx

図 3-19 (経過時間設定)

レコードを停止して、再度レコード開始した場合は、それ以降の最大値、最小値を表示します。

3.8. グラフ表示

測定値データリストの中の、最後の連続したデータ（開始ボタンを押してレコードしたデータ）をグラフに表示します。（図 3-20）

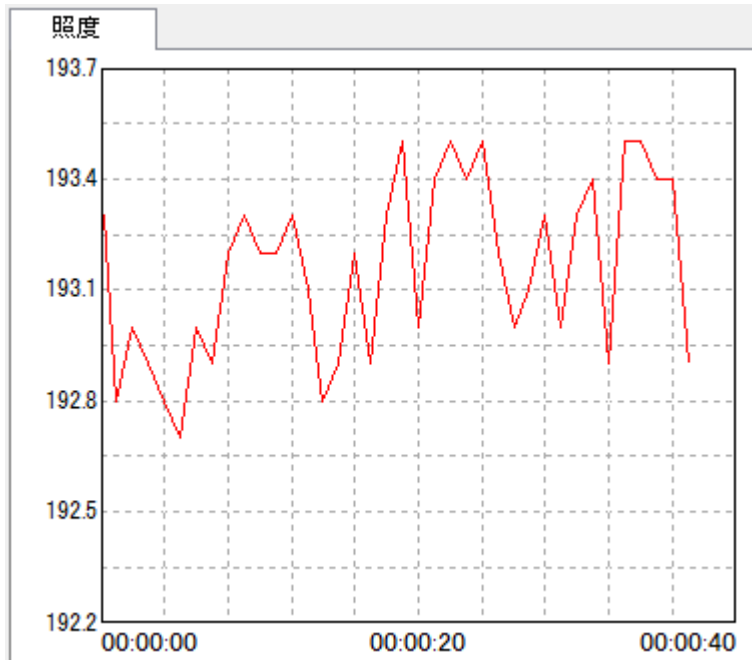



図 3-20


(1) グラフの横軸はレコード開始からの経過時間を表示します。

(2)  により、表示しているグラフをクリップボードにコピーします。
ドキュメント作成アプリケーションなどに簡単に「貼り付け」することができます。

3.9. ファイル

3.9.1. レコードデータ保存

レコードデータは次の2通りの形式で保存することができます。

- (1)  ボタン、またはファイルメニューの「上書き保存」「名前をつけて保存」にて、レコードデータをバイナリ形式 (FT3424/FT3425 固有) で保持します。ファイル形式: *.hflm
- (2) ファイルメニューの「CSV 形式で保存」にて、レコードデータを CSV 形式 (テキスト) で保存します。Microsoft Excel で表示した例を図 3-21 に示す。

F1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

図 3-21

Microsoft Excel 等でファイルを開いている状態で、上書き保存すると以下のメッセージが表示します。上書き保存する場合はファイルを閉じてから再度保存してください。(図 3-22)

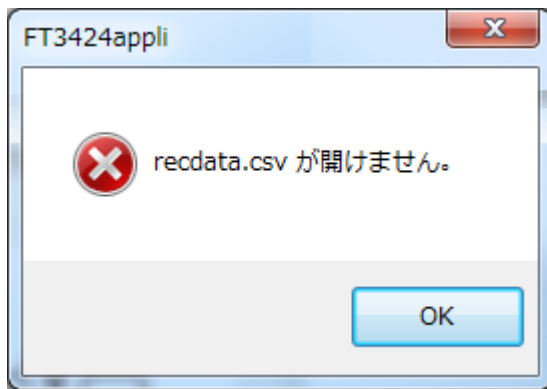


図 3-22

3.9.2. 保存したレコードデータの表示

- (1) ファイルメニューの「開く」にて、FT3424/FT3425 固有のファイル形式で保存したファイルをレコードリストおよびグラフに表示します。
- (2) CSV 形式で保存したファイルは開くことができません。
- (3) 他の FT3424/FT3425 用アプリケーションで保存したファイルは互換性がないため開くことができません。

3.10. オプション

3.10.1. FT3424/FT3425 本体メモリデータ読み込み

- (1) オプションの「FT3424/FT3425 本体メモリデータ読み込み」をクリックします。
リアルタイムモニタしていない場合、インターバルレコード中は選択できません。
- (2) メモリデータ読み込みダイアログが表示されます。(図 3-23)
保存先を設定して、OK をクリックします。

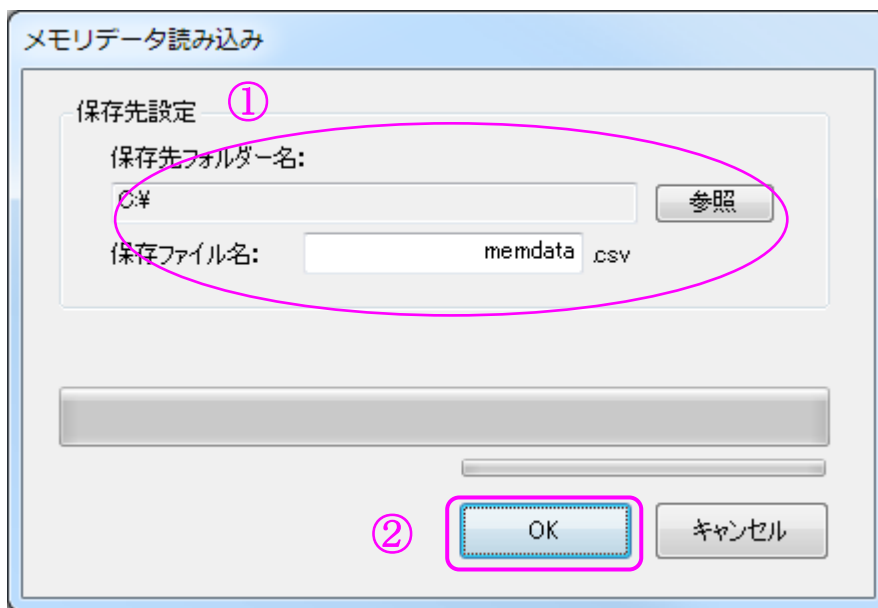


図 3-23

- (3) データ読み込みが始まります。(図 3-24)



図 3-24

- (4) データ読み込み完了メッセージが表示したら[OK]をクリックします。(図 3-25)

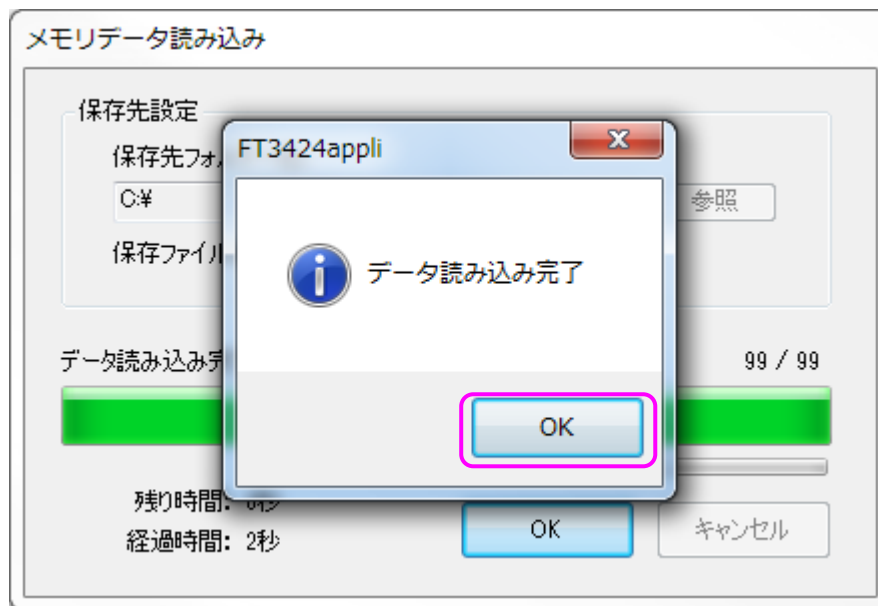


図 3-25

- (5) Microsoft Excel で表示した例を図 3-26 に示す。

F1	F1													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	Communicator for FT3424 Ver1.00													
2														
3	メモリデータ													
4	モデル:	HIOKI	FT3424	Ver 1.00										
5	S/N:	140499596												
6	日付:	2014/5/19												
7														
8	No	レンジ	測定値	単位	OVER									
9	1	20	12.29 lx											
10	2	200	115.3 lx											
11	3	2000	430 lx											
12	4	20000	440 lx											
13	5	200000	400 lx											
14	6	200000	400 lx											
15	7	200000	400 lx											
16	8	200	141.7 lx											
17	9	200	128.6 lx											
18	10	20	0 lx											
19	11	2000	254 lx											
20	12	2000	273 lx											
21	13	2000	616 lx											
22	14	2000	613 lx											
23	15	2000	790 lx											
24	16	2000	766 lx											
25	17	2000	561 lx											
26	18	200	167.3 lx											
27	19	200	175.2 lx											
28	20	200	175.2 lx											
29	21	200	175.2 lx											
30	22	2000	547 lx											
31	23	2000	547 lx											
32	24	2000	547 lx											
33	25	2000	547 lx											
34	26	2000	361 lx											
35	27	2000	417 lx											
36	28	2000	347 lx											
37	29	2000	323 lx											

図 3-26

3.10.2. レコードデータ Excel 貼り付け

この機能を使うと、データを直接 Excel に記録することができます。

- (1) オプションの「レコードデータ Excel 貼り付け」をクリックします。
- (2) レコードデータ Excel 貼り付けダイアログが表示されます。
[Excel 起動]をクリックします。(図 3-27)

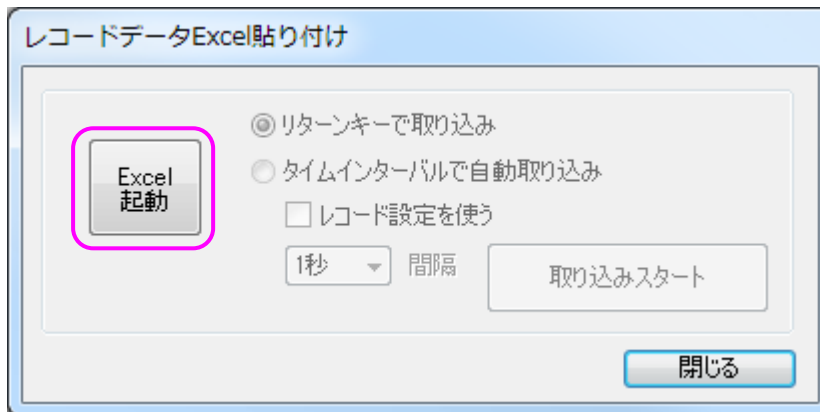


図 3-27

- (3) 「新規ファイル（起動中のファイル）」または「ファイルを指定する」を選んで[OK]をクリックします。(図 3-28)

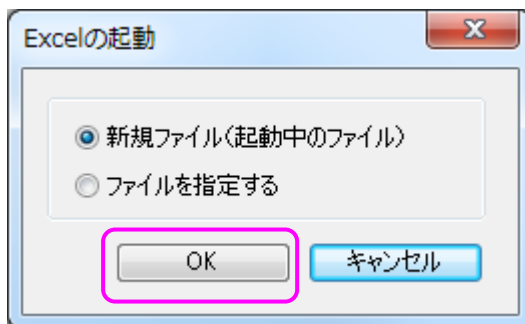


図 3-28

- (4) レコードデータ Excel 貼り付けダイアログで、タイムインターバル設定して[取り込みスタート]をクリックします。(図 3-29)

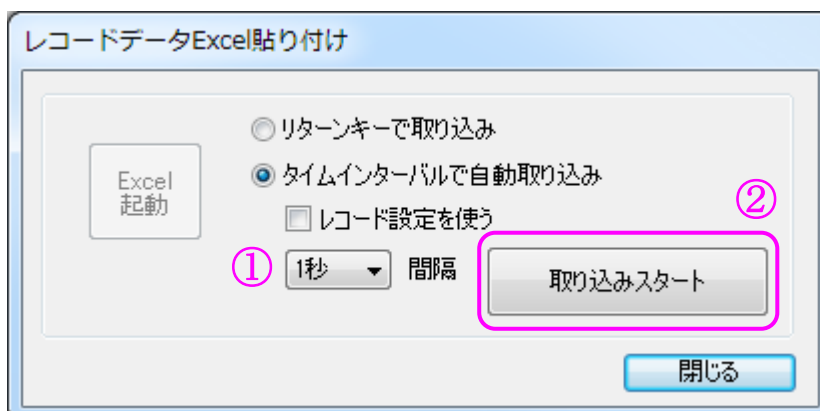


図 3-29

(5) タイムインターバル取り込みを止める場合は **取り込み中止** をクリックします。

(6) タイムインターバルで設定できる時間は以下の通りです。

1 秒、2 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、20 分、30 分、60 分

「レコード設定を使う」にチェックすると、レコード設定のインターバル時間と合計にしたがって自動取り込みすることができます。(時間表示モード設定を除く。)

(7) 「リターンキーで取り込み」を選択している場合はリターンキー押下時にレコードデータを Excel に貼り付けます。

(8) Microsoft Excel が閉じられた場合は次のメッセージが表示します。(図 3-30)

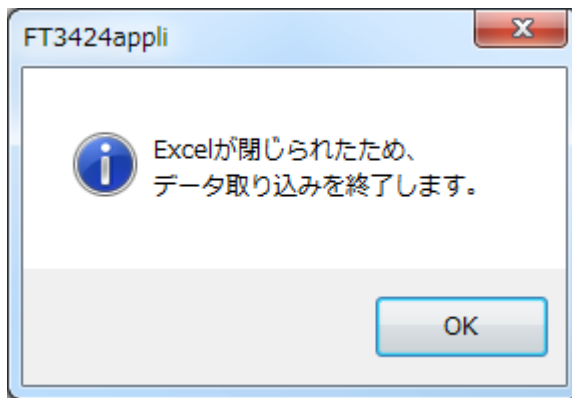


図 3-30

(9) モニタ停止中に取り込みスタート（またはリターンキーで取り込み）した場合は、次のメッセージが表示します。モニタ開始してから実行してください。(図 3-31)

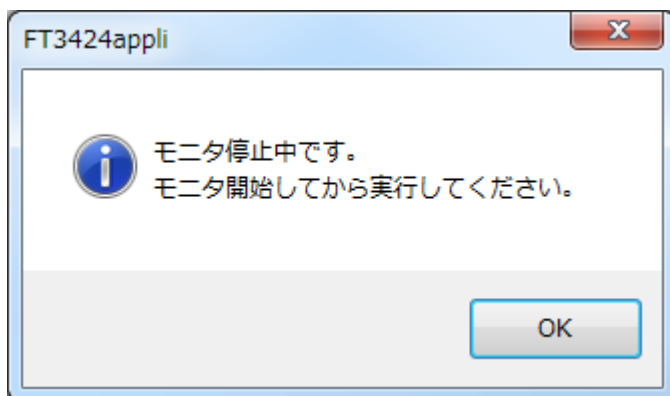


図 3-31

注記：正しく動作しない場合がありますので、
タイムインターバル取り込み中には Excel の操作をしないでください。

3.11. 言語

日本語表示と英語（English）表示を切り替えることができます。

3.12. ヘルプ

3.12.1. PDF マニュアル

PDF マニュアルを見ることができます。

3.12.2. バージョン情報

コミュニケーター for FT3424/FT3425 のバージョン情報を確認できます。（図 3-32）



図 3-32

4. 困ったときは

4.1. インストールできない

Administrator(アドミニストレーター)権限があることを確認してください。

4.2. USB 通信ができない

本アプリケーションは仮想 COM ポートを使用しています。
仮想マシンでは通信動作できません。

COM ポートの設定について、USB ポートに割り当てられる COM ポート番号は使用されるコンピュータによって変わります。次の方法で割り当てられた COM ポート番号を確認してください。

(1) デバイスマネージャを開きます。

- Windows 7 の場合

[スタート]–[コントロールパネル]–[システムとセキュリティ]–[デバイスマネージャ]

- Windows 8, Windows 8.1 , Windows 10 の場合

[デスクトップ]–[スタートの右クリック]–[デバイスマネージャ]

(2) ポート(COM と LPT)の項の FT3424 Lux Meter - CDC (COMX) の"X" が COM ポート番号です。

4.3. FT3424/FT3425 本体を自動認識しない

USB ケーブルを接続するタイミングによって、FT3424/FT3425 本体を自動認識しない場合があります。その場合は、FT3424/FT3425 本体の電源を入れなおしてください。

4.4. FT3424/FT3425 への入力値とレコードデータの値 が異なる

FT3424/FT3425 本体への入力値が変化してレンジが切り替わった場合などに、FT3424/FT3425 本体のレンジが定まってからの応答が追いつかず過渡状態の値をレコードする場合があります。その場合には、あらかじめレンジを固定レンジに設定してからレコード操作を行ってください。